

2018年3月期 第1四半期 決算の概要

2017年8月1日

日本ユニシス株式会社

売上は前年同期並みも、製品販売増益等により営業利益は+15%の増益

(単位：億円)

	第1四半期 (4-6月)		前年同期比 増減	
	2018/3期	2017/3期		
売上高	561	561	+0	+0.0%
売上総利益	138	136	+1	+0.9%
販管費	▲123	▲124	+1	+0.6%
営業利益	14	12	+2	+15.2%
(営業利益率)	(2.6%)	(2.2%)		(0.3pt)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13	9	+4	+48.2%
受注高	575	620	▲45	▲7.3%
受注残高	2,121	2,175	▲54	▲2.5%

<1Q決算のポイント>

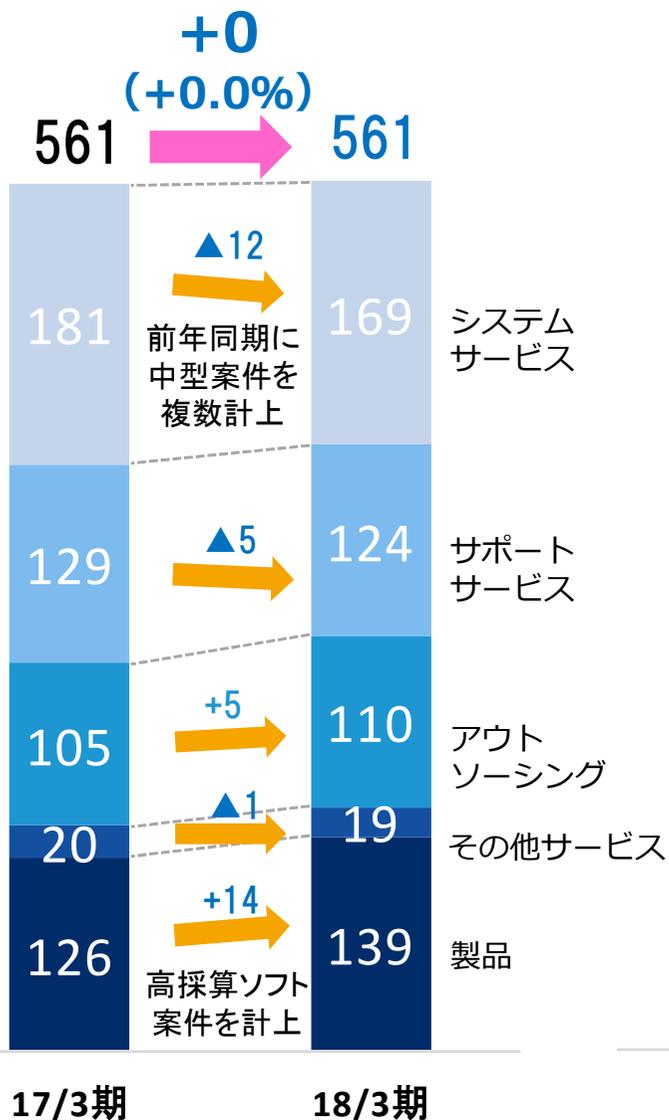
- 売上高
システムサービスが減収となるも製品販売及びアウトソーシングが伸長し前年同期並み。
- 営業利益
製品販売での増益および販管費の減少等により増益。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
営業増益に加え、営業外費用の減少等により増益。
- 受注高・受注残高
受注高は前年同期のアウトソーシング案件計上の反動減等により減少。受注減に伴い、受注残高も減少。

【ご参考】 1Q (4-6月) の売上高、営業利益、純利益の5カ年推移 (単位：億円)

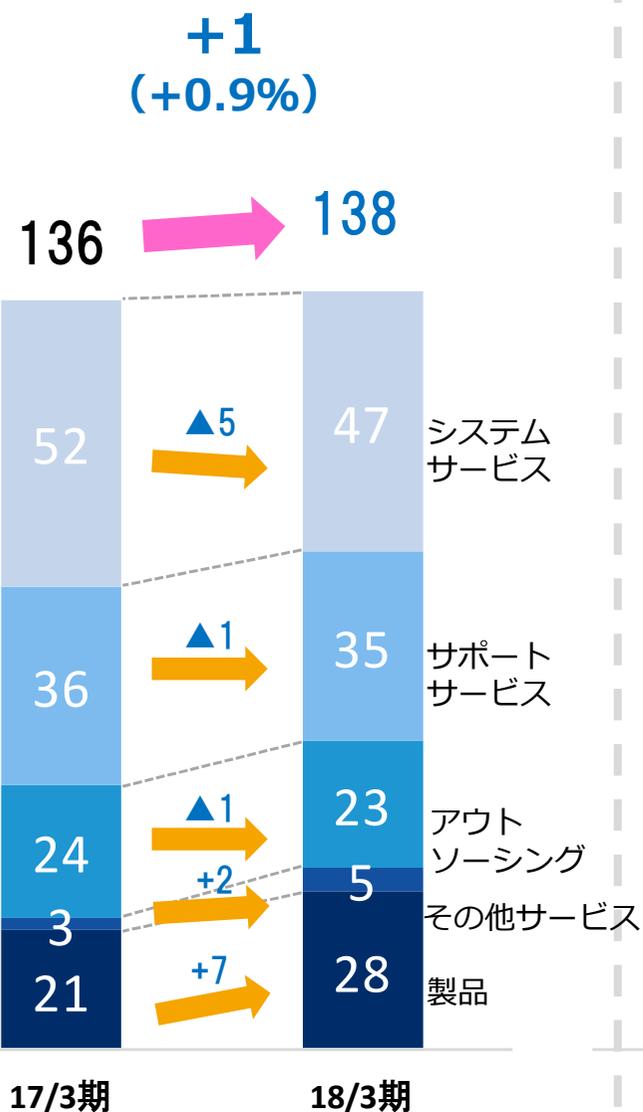


(単位：億円)

売上高

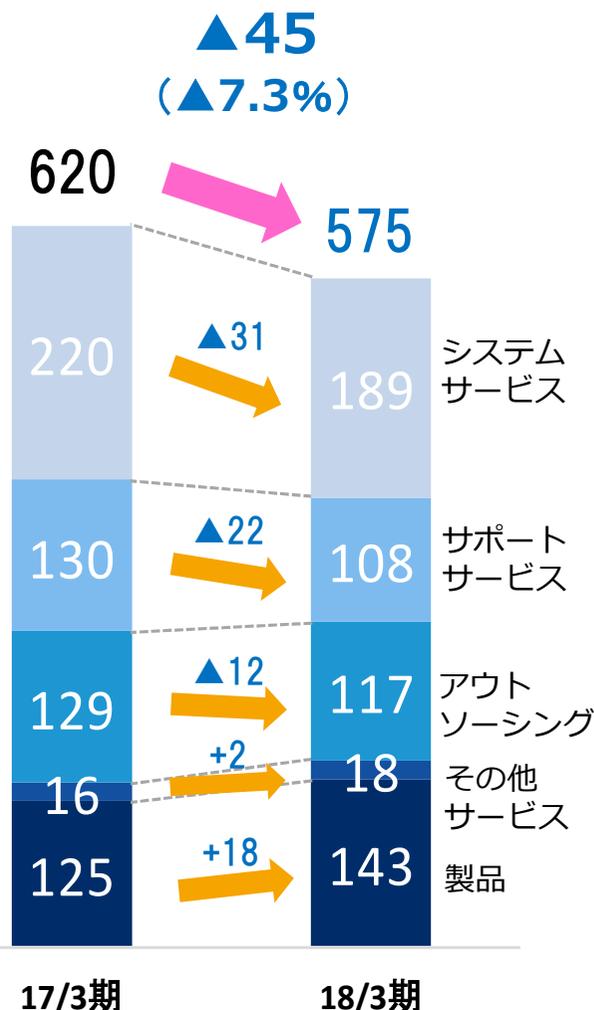


売上総利益

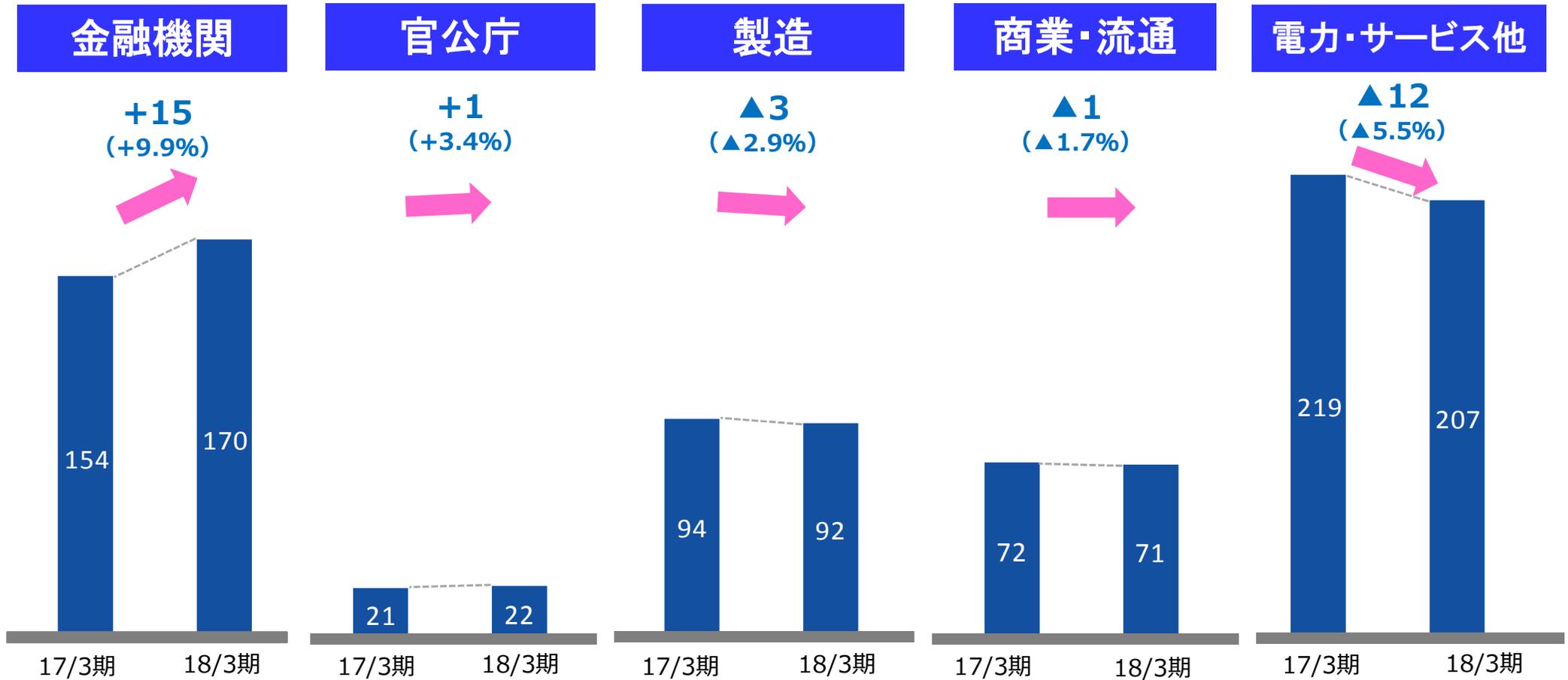


【ご参考】

受注高



(単位：億円)



マーケット概況

(金融機関)
BankVision10行目および信金向け案件が新規稼働開始。FinTech活用やフロント領域強化、生産性向上に向けた案件の引合いが活発

(官公庁)
リスクを見極め案件を選別

(製造)
自動車中心に需要は底堅く推移。IoT関連ビジネスの獲得拡大に取り組む

(商業・流通)
小売は導入型ソリューションの引合いが活況。ロボティクス/AIを活用した接客、バックヤード業務対応を推進中

(電力・サービス他)
エネルギー管理システムを軸とした社会基盤領域ビジネスを強化。クラウド型タクシー配車システムを拡販中

上期の売上高、営業利益、四半期純利益の予想は
公表値（5月9日）から変更なし

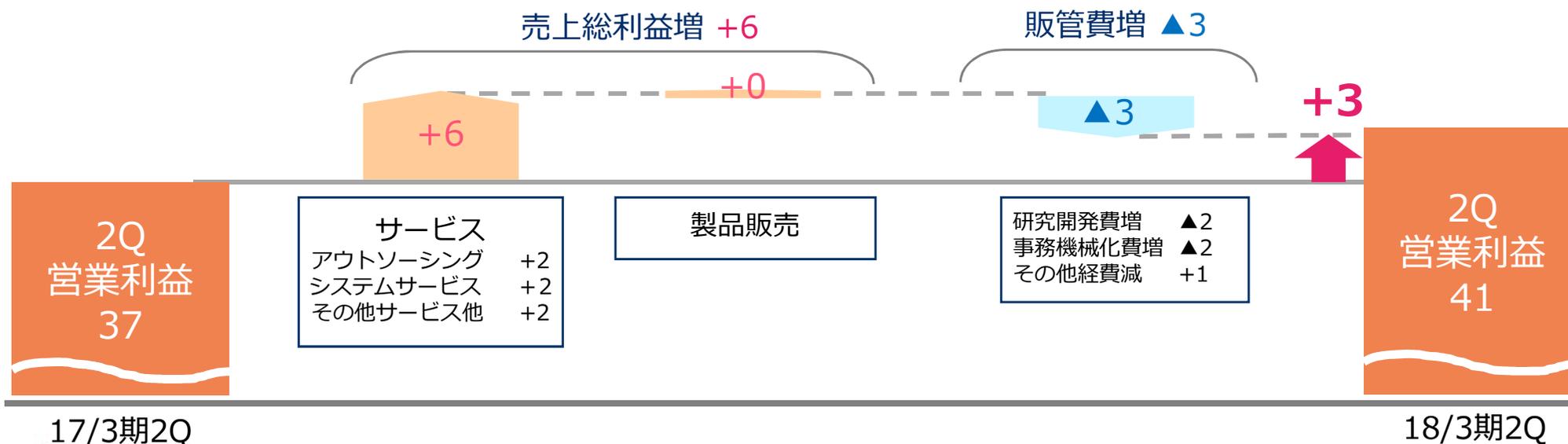
（単位：億円）

	18/3月期 1Q実績		18/3月期 2Q予想		18/3月期 上期予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	561	+0	739	+25	1,300	+26
営業利益	14	+2	41	+3	55	+5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13	+4	24	▲2	37	+2

* 上期予想の内訳は補足資料をご覧ください。

【2Q(7-9月) 営業利益の増減分解】

（単位：億円、増減は前年同期比）

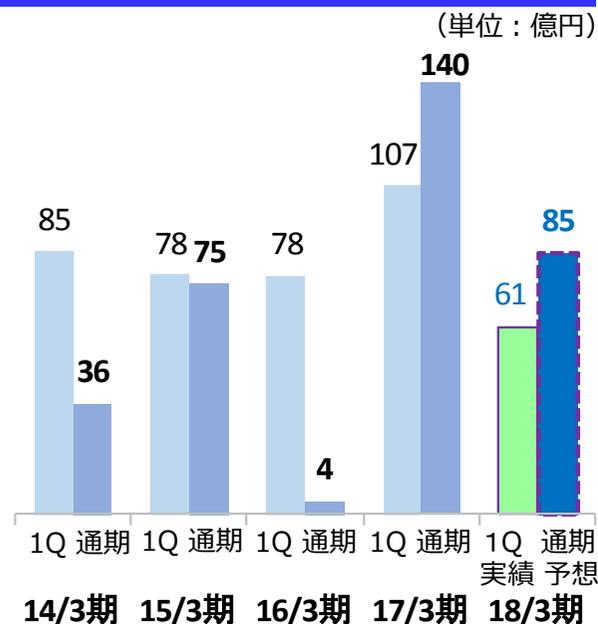


(参考) 財務指標推移および中期経営計画の進捗

Foresight in sight

▼ 今年度1Q実績 ▼ 前年度1Q実績

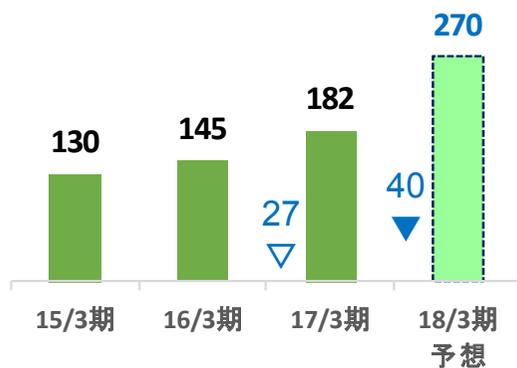
フリー・キャッシュ・フロー



売上高

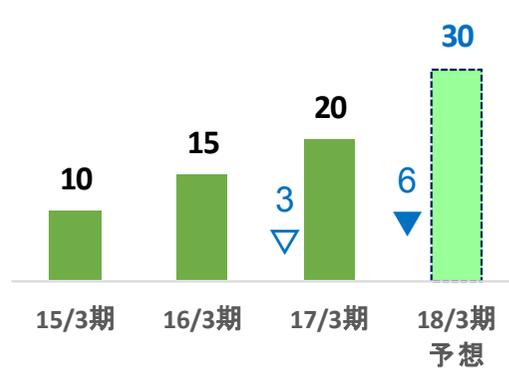
デジタルイノベーション

(単位：億円)



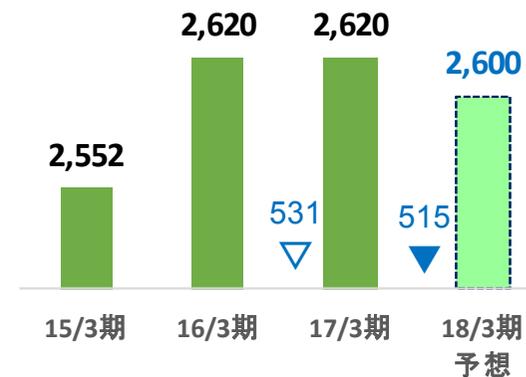
ライフイノベーション

(単位：億円)

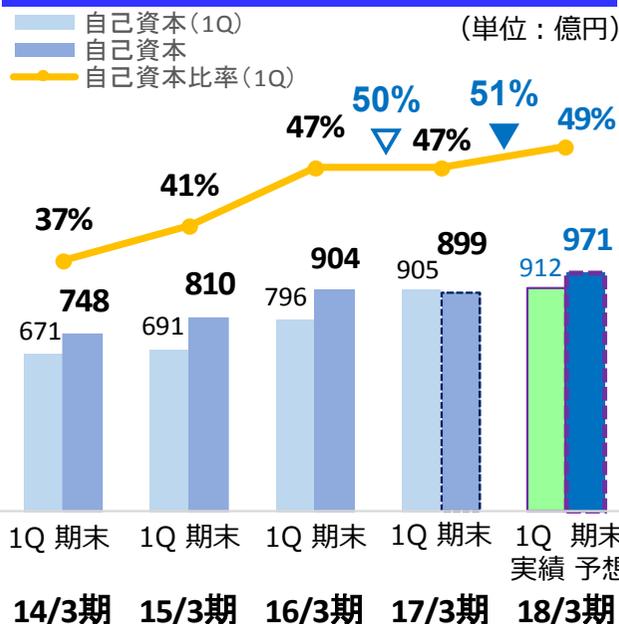


ビジネスICTプラットフォーム

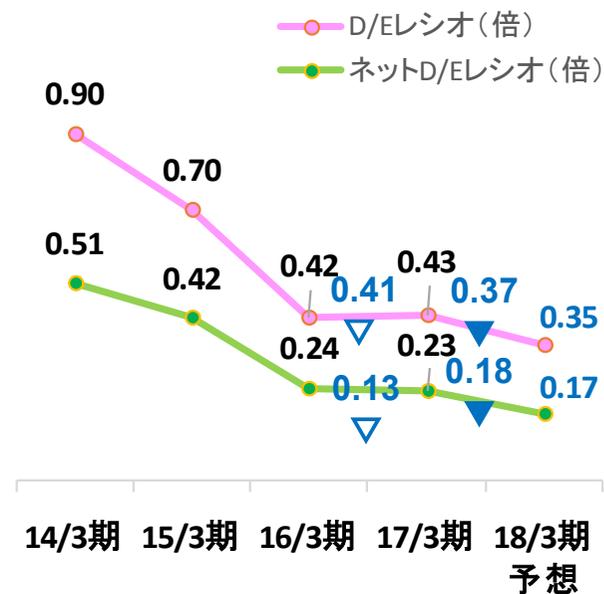
(単位：億円)



自己資本



D/Eレシオ



Foresight in sight

UNISYS

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。